

# 高等学校第 1 学年商業科情報処理学習指導案

期 日 平成 26 年 10 月 14 日 (火)

場 所 上天草高等学校

授業者 教諭 堂前 智行

## 1 単元名

第 3 章 情報モラルとセキュリティ管理

(1) 情報モラル (情報処理 東京法令出版)

## 2 単元について

(1) 単元について

「情報処理」は、ビジネスに関する情報を収集・処理・分析し、表現する能力と態度を育成することを大きな目標とし、知的財産権や個人情報の保護など情報社会に参画するための情報モラルについて学習し、ビジネスの諸活動において、情報を主体的に活用する能力と態度を育成することをねらいとしている。

また、近年、情報モラルやセキュリティに関する問題が多発しており、情報が社会に与える影響や情報を扱う者の責任の重さについて理解を深める必要がある。この単元の学習を通して、情報の取扱における留意点を把握するばかりでなく、個人情報保護や知的財産権の保護の重要性について理解を図ることは重要であると考えられる。

(2) 生徒の実態について

※省略

(3) 指導について

情報モラルやセキュリティ管理は、今後ビジネス社会を担う生徒にとって、必要不可欠な能力である。情報に関する科学的な理解を中心にこれまで学習を進めてきたが、情報モラルやセキュリティの問題は、日常生活でのモラルや規範意識が基盤となるものであり、一人ひとりの意識の問題である。「これくらいよいだろう」ではなく、その行為が今後どのような結果を生むことが考えられるかを予測できるように指導を行っていきたい。

## 3 指導目標について

本単元の指導目標は以下の 4 点である。

(1) 情報の意義や役割の理解および情報を扱うものの責任について理解する。

(2) ネットワークにおけるマナーおよび犯罪行為に関して理解する。

- (3) 個人情報や知的財産権の保護などの法令遵守精神を育成する。
- (4) 情報漏えいを防ぐためのセキュリティ対策の現状および課題の理解する

#### 4 指導計画について

本単元の指導計画は、情報モラルとセキュリティ管理から構成され、計6時間の指導を行う。

1 情報モラル	3 時間	→	2 セキュリティ管理	3 時間
ア 情報モラル	1 時間 (本時)		ア マルウェア	1 時間
イ ネチケット			イ ウイルス対策ソフト	
ウ 個人情報の保護	1 時間		ウ セキュリティホールとアップデート	1 時間
エ 個人情報保護法			エ セキュリティ管理	
オ 肖像権	1 時間		オ 盗聴防止と暗号化	1 時間
		カ インターネット上の犯罪		

#### 5 情報モラル教育の視点

- ア ブログやSNSを利用していく中で、少なからずトラブルを経験することがあることから、トラブルを起こさないための書き込みの注意点については、グループで話し合い、互いの考えを交流させることで、注意点について深く考えられるようにする。
- イ ネチケットの視点から情報発信における注意点を考えさせることで、将来のビジネス社会で活躍する人材として、情報を発信する際のルールやマナーについて考えを深められるよう、グループ学習や発表を行う。
- ウ ブログやSNSに偏ったコミュニケーションを行いがちな高校生に対して、情報モラルやネチケットの重要性を理解させるばかりでなく、人と人との直接的なコミュニケーションの必要性を考察させるようにする。
- エ 目的や用途に合わせて適切なコミュニケーションの方法や手段の使い分けができるような能力や態度を身につけることができるようにする。

#### 6 本時の学習（1 / 1 時間）

##### (1) 目標

- ア 情報モラルの大切さを考え、ネチケットについて理解を深める。
- イ よりよい人間関係構築に向けたコミュニケーションの手法について考える。

(2) 展開

過程	主な学習活動	主な発問や指示 (○) 等 指導上の留意点 (・) 及び評価	備考
導入 5分	1 WebやSNSを使った情報発信の方法について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を振り返り、ビジネスの中で情報発信は重要であり、その発信方法について、どのようなものがあったかについて、確認する。</li> </ul>	
展開 40分	<p>2 SNS利用におけるトラブルの事例について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各自で資料を読む。</li> <li>各自、資料をもとに問題点について考え、ワークシートに記入する。</li> <li>発表する。</li> </ul> <p>3 SNS利用におけるルールについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとに、SNS利用の問題点やその対応策について考える。</li> <li>グループごとに考えた内容をもとに、ルールとしてまとめる。</li> <li>各グループからの発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実物投影機を使い、資料を拡大提示することで、生徒の理解を促す。</li> <li>○資料を読み、何が問題なのか、考えてみましょう。</li> <li>[問題点の考察]</li> <li>誰のどんな行動が問題か</li> <li>問題点に対しての対応策は</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[評価1] (ワークシート) B: 問題点を指摘することができる。</p> </div> <p><b>A基準</b> 根拠を示しながら、問題点を指摘することができる。</p> <p>&lt; B基準に達していない生徒への手立て &gt; 自分の生活、使い方を想起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各グループで、SNS利用の問題点やその対応策について考えを出し合ひましょう。</li> <li>・KJ法的手法を使うことで、各自の考えを構造化できるようにする。</li> <li>・グループのメンバー全員が納得できるルールへと集約できるように話し合いを支援する。</li> <li>・各グループからの発表に対して価値付けを行い、ポイントについて解説する。</li> </ul>	実物投影機による資料提示
まとめ	<p>4 社会人としてのよりよいコミュニケーションについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無料通話アプリで欠勤連</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○無料通話アプリで欠勤連絡を行うアルバイトの事例から考えましょう。</li> <li>・ビジネスの世界のルールを解説する。</li> </ul>	実物投影機による資料提示

5 分	絡を行うアルバイトの 事例から考える。	<p data-bbox="667 232 1321 416">〔評価2〕（ワークシート） B：コミュニケーションの方法について 自分なりの考えを記入している。</p> <p data-bbox="667 439 1273 721"><b>A基準</b> コミュニケーションの方法を具 体例を挙げて記入している。 &lt; B基準に達していない児童への手立て &gt; 具体的なくつかのコミュニケーション を挙げ、そのメリット、デメリットを考 えさせる。</p>	
--------	------------------------	---	--